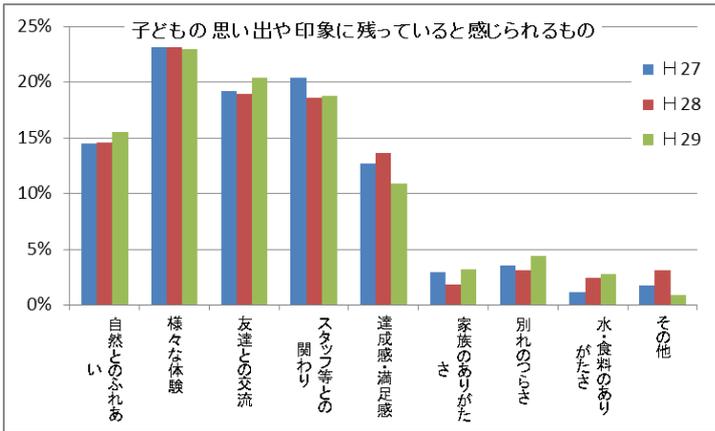
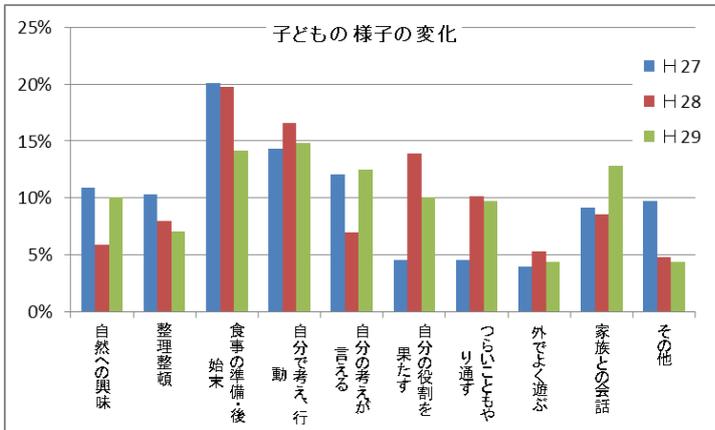


保護者の方々から見た子どもの姿（過去3年間のアンケートより）

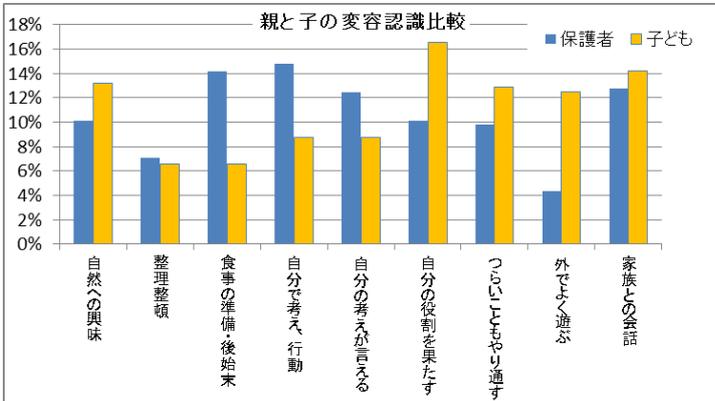
保護者の方々にも事業終了1カ月後に子どもたちの変容状況についてアンケートをお願いしています。サマーチャレンジを経験し、家庭や学校で子どもたちは少しずつ変化を見せているようです。



家庭に戻ってから、子どもたちはいろいろと思い出話をしてくれたようです。様々な体験はもちろん、友達やスタッフとの関わりについてたくさん話をしてくれたようです。



日々の生活の中で、子どもたちの様子にも変化が見られます。保護者の方々の多くが「食事の準備・後始末」、「自分で考え、行動」することができるようになってきていると感じています。また今年度は「自分の考えが言える」「家族との会話が増えた」と感じている割合が高くなっています。



参加した子どもたちにも、1カ月後の自己変容調査を行いました。事業終了直後と比べ、子どもの意識は薄らいでいきますが、事業の趣旨でもある「忍耐力」「社会性」「思いやり」「自主性」「協調性」「自然のすばらしさや大切さ」について、子どもたちが継続して持ち続けるような意識付けが大切であると考えています。

<今年度の保護者の声>

- ひとまわり大きくなった姿を見ることができた。（芦原・4年男子）
- 5日ぶりに会った息子は少し顔つきがしっかりして、成長したように思いました。この体験を忘れず、成長してほしいです。（鯖江・5年男子）
- 今回の体験で、台風等、自然の力にはかなわないことやそんな中でも楽しい時間を持たせてもらったことへの感謝の気持ちが会話に出てきたのがうれしかった。（三方・4年男子）
- たくさんの方々との触れ合い、家では経験できないことばかりなので、このサマーチャレは本当にありがたい企画だと思っています。（三方・5年女子）
- とてもいい表情で楽しかったと話していました。全ての日程、どれも充実しており、楽しかったようです。（奥越・5年男子）
- スタッフ、ボランティアの方々との触れ合いも楽しかったです。今度はカウンセラーで参加するといっています。（奥越・中2男子）
- 魚つかみが特によかったです。「この魚も生きていたんだね」といって、ちゃんと食べるようになった。（奥越・5年女子）

